

不動産の問題まるっと解決！

おしえて底地くん



Q.借地権者さんから借地権を買い取ってほしいと言われました。買取価格の基準ってありますか？

明確な基準というものはなく、原則として売買価格は当事者が合意の上で決めることになります。相続税路線価図の単価・借地権割合を基準に価格を決める方法もありますが、これも売買の際の絶対的な基準ではありません。尚、契約上、特段の定めが無い限り、借地権者さんの買取りの要請に応じるかどうか地主さんの任意となります。

(引用：https://www.sansei-l.co.jp)

ものしりのもり



江戸の防寒事情

最近は機能性インナーやダウンジャケットといった温かい服が普及していますが、時代劇で見る江戸時代の人々は雪が降っていても随分と薄着に見えます。しかも、当時は地球全体が「小氷期」といって現代よりも冬は極寒で、墨田川が凍るほどだったと言われていました。

現代でも衣替えという言葉がありますが、江戸時代には幕府が衣替えの期日を制度化しており、しきたりにうるさい武士だけではなく庶民にも広がりました。当時は現代のように季節ごとの服を所有するのではなく、手持ちの服をその季節に合うように仕立て直していたそうです。季節ごとに家族全員分を仕立て直すのは大変な手間ですね。

江戸時代の防寒着といえば綿入れです。着物より一回り大きなサイズの「襦袍（どてら）」という部屋着や、丈の短い半纏、袖のないちゃんちゃんこ、赤ちゃんをおんぶした上から羽織るねんねこ半纏など様々なバリエーションがありました。

防寒対策を語るうえで欠かせないのが足元です。雪や雨の日に活躍したのが「足駄（あしだ）」と呼ばれる歯の高い下駄でした。また、「褌皮（つまかわ）」という足先カバーがついた下駄も活躍したそうです。一方では浮世絵を見て分かるように、足袋と草鞋の人もいれば、真冬でも裸足に草鞋で過ごす人が一定数いたようです。当時は「薄着が粋」「伊達の薄着」という美意識があったためだと言われています。特に吉原の遊女たちは真冬でも裸足を通していたそうです。「お洒落は我慢」というのはいつの世でも変わりませんね。

底地・築古収益物件の情報お寄せください！



株式会社サンセイランディック

〒100-6921

東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング21階

TEL：03-5252-7515(営) FAX：03-5252-7516

Email：Info@sansei-l.co.jp

札幌支店

〒060-0003

北海道札幌市中央区北3条西2-2-1

NX札幌ビル7F

TEL:011-261-3960(代) / FAX:011-261-3955

仙台支店

〒984-0051

宮城県仙台市若林区新寺一丁目2-26

小田急仙台東口ビル8F

TEL:022-742-2411(代) / FAX:022-742-2412

武蔵野支店

〒180-0006

東京都武蔵野市中町1-11-4

武蔵野ニッセイプラザ5階

TEL 0422-38-7031 FAX 0422-38-7039

名古屋支店

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17 KDX桜通ビル

10F

TEL:052-955-6380(代) / FAX:052-955-6389

関西支店

〒541-0041

大阪府大阪市中央区北浜3-5-29

日本生命淀屋橋ビル12階

TEL:06-4706-0040(代) / FAX:06-4706-0045

京都支店

〒604-8152

京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル

手洗水町659番地 烏丸中央ビル5F

TEL:075-241-0188(代) / FAX:075-241-0199

福岡支店

〒810-0001

福岡県福岡市中央区天神1-13-21

天神商栄ビル5F

TEL:092-718-0212(代) / FAX:092-718-0213

サンセイランディック WEBサイトへ

当社WEBページでは底地の専門情報を公開中です。Q&Aや問題解決事例など、豊富なコンテンツをご用意しておりますので是非ご覧ください。

